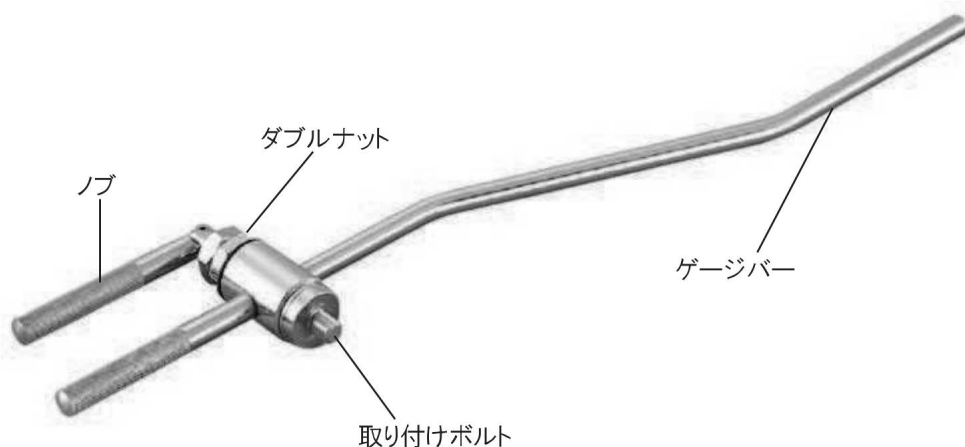


C-336 ディレーラー直付ゲージ

このたびは ホーザン C-336 ディレーラー直付ゲージをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

各部の名称



仕様

全 長	450mm
重 量	620g

注意文の警告マークについて

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠警告 …重傷をとまなう重大事故の発生を想定してのご注意

⚠注意 …傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、**⚠注意**として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねく恐れがあります。正しく安全にご使用ください。

ご使用上の注意

本製品は自転車フレームのリアディレーラーブラケットの平行度の測定、および矯正を行うための工具です。この目的以外に使用しないでください。

⚠注意

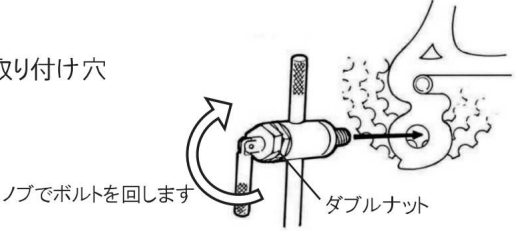
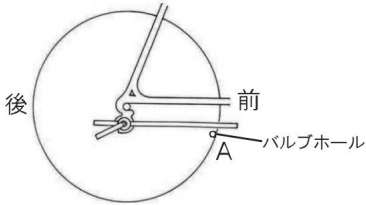
1. 本器に割れ、欠け、摩耗、変形などが認められる場合は使用しないでください。
2. 矯正作業は、わずかずつ慎重に行ってください。ディレーラーブラケットの金属疲労など、損傷を起こす恐れがあります。
3. 摺動部には定期的に注油してください。

ご使用方法

正確にセンター振れのとれたホイールをご用意ください。振れの出たホイールを使用すると、かえってディレーラーブラケットの歪を増大する恐れがあります。

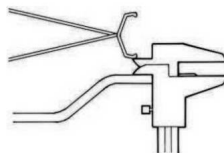
振れ取りには、C-330などの振取台をご使用になるのが万全です。

また、本器とリムとの間隔を測定するためにノギスが必要です。

- 1 ホイールをフレームに装着します。タイヤ、チューブは外してください。
- 2 ディレーラーブラケットからディレーラーを取り外します。ワイヤー、チェーンを外す必要はありません。
- 3 本器の取り付けボルトをディレーラー取り付け穴にねじ込みます。
- 4 リムのバルブホールと本器ゲージバーをまわしてチェーンステイの真下(図A位置)にします。ゲージバーの動きが固い場合、またゆるい場合はダブルナットをレンチなどで調整してください。

ご使用方法

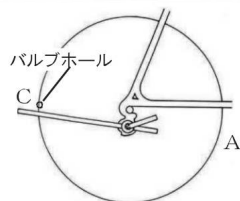
5 本器とリムの間隔を測定します。



⚠ 注意

1. ホイールのセンターに起因する誤差を少なくするため、必ずリムのバルブホールなど確実に目印になる点で読みとってください。
2. リム断面が台形になっていることによる誤差を少なくするため、リムの最も外側（タイヤ側）で読みとってください。

6 バルブホールと本器を半回転して図のC位置にします。



7 本器とリムの間隔を測定します。

8 ●この間隔とA位置での間隔との差が4mm以下であれば、この面での矯正は必要ありません。

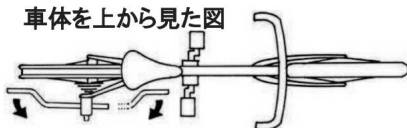
- A位置とC位置での本器・リムの間隔の差が4mmを超える場合はディレーラーブラケットの水平方向を矯正する必要があります。A位置とC位置の数値の差の1/2分を、図のようにゲージバーをテコにしてディレーラーブラケットをこじて矯正します。必ずA位置、C位置の2カ所で交互に確認、矯正を行ってください。A位置とC位置での本器・リムの間隔の差が4mm以下になるまで繰り返します。

【例】

A位置で43mm …差は3mm…OK
C位置で46mm

A位置で49mm …差は7mm…矯正
C位置で42mm

車体を上から見た図

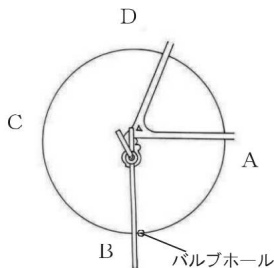


⚠ 注意

矯正作業は、わずかずつ慎重に行ってください。ディレーラーブラケットの金属疲労など、損傷を起こす恐れがあります。

ご使用方法

- 9 バルブホールと本器を回転して図のB位置で、同様にD位置で、本器とリムの間隔を測定します。



- 10 ●B位置とD位置での間隔の差が4mm以下であれば、この面での矯正は必要ありません。

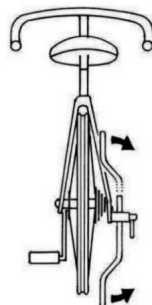
- B位置とD位置での本器・リムの間隔の差が4mmを超える場合はディレーラーブラケットの垂直方向を矯正する必要があります。B位置とD位置の数値の差の1/2分を、図のようにゲージバーをテコにしてディレーラーブラケットをこじてし矯正します。必ずB位置、D位置の2カ所で交互に確認、矯正を行ってください。B位置とD位置での本器・リムの間隔の差が4mm以下になるまで繰り返します。

【例】

B位置で43mm …差は3mm…OK
D位置で46mm

B位置で49mm …差は7mm…矯正
D位置で42mm

車体をうしろ
から見た図



- 11 垂直方向を矯正すると、水平方向の調整に微妙な歪が生じます。A-C、B-Dの各位置で、インジケータとリムの間隔の差が4mm以下になるまで確認と矯正を繰り返します。

ホーサン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12

製品・補修部品はWebサイトにてご購入いただけます。
<https://www.hozan.co.jp/>



技術的なお問い合わせ

ホーサン テクニカルホットライン

☎06-6567-3132 / E-mail : th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00、13:00~17:00】